

宮川の風 第42号

平成30年4月13日(金)発行
宮川小学校校長室からのたより

平成30年度が始まりました。3月に11人の職員が宮川小に別れを告げました。今週、ようやく新しい職員全員が揃い、14人の新しい職員の配置をいただくことになりました(内5人は29年度からの継続)。職員全員が、宮川小児童のため学校のため、地域のためという強い使命感をもって職務にあたっています。どうかよろしくお願いします。

子どもたちも、新しい1年生を迎え、自らも一つ上の学年に進級して、新たな喜びと責任感をもってスタートをきったことと思います。春は、夢や希望が似合います。

子どもたちも職員も、そのやる気を行動に結びつけていくことで、活気があり深い学びを実践する宮川小学校であり続けたいと考えています。

そこで、子どもたちが、そして、それぞれの職員がどんな目標を設定するかについて考えてみたいと思います。裏面の話をお読みください。

慎重さは必要だと思いますが、「届かないパット」では目標達成はできません。夢や希望や目標は高く大きい方が良く言われますが、タイガー・ウッズ選手の言葉を知ると納得がいきます。私も少しのゴルフ経験がありますが、自信なく放った最後の一打(パット)は、だいたいカップの手前で止まってしまいます。その瞬間、自分の気持ちの弱さに愕然とし自己嫌悪に陥るのです。私は、それを繰り返しながら、だんだんとゴルフから距離を置いてきました。

思い切った一打を期待します。もちろん、その思い切りは、無謀な一打ではなく、計画的でやる気に満ちた一打であってほしいと思います。その一打のために努力を惜しまない姿勢こそが、良い結果を生むための必需品だと思います。

見事なカップインを楽しみにしながら、みんなで力を合わせていきましょう。

入学・入園式が各地で行われました。皇徳寺中学校では、本校の卒業生たちが緊張の面持ちで式に出席していました。幼稚園の入園式では、かわいらしい新入園児たちの表情に癒やされました。

そして、本校の入学式では、大人用のパイプ椅子に座り、足をぶらぶらさせながらも最後までしっかり式に参加した子どもたちでした。これから、毎日少しずつ学習を積み重ね、一年後には見違えるほどのお兄ちゃんお姉ちゃんになることを楽しみにしています。

ある日のできごとから



9日の月曜日の1時間目。ほとんどの学級で「学級活動」が行われ、子どもたちの自己紹介、掃除場所や係の分担、それぞれの学年としての自覚を促す担任の講話などが行われていました。

3年生の教室では、担任が「あなたたちは、宮川小学校で上から4番目のお兄ちゃんお姉ちゃんです。」と中学年としての責任感について話していました。実は、始業式の際の校長先生からの話の中で、こんなことを話したのです。「特にお願したいことが三つあります。一つ目は、思いやりを持って人に優しくする。二つ目は、自分で考えて勉強や運動に励む。そして、三つ目は、一年生にお手本を示す。」三つ目のお手本については、3年生も大事な役割を担います。担任の話を真剣に聞きながら、中学年に仲間入りした子どもたちの意欲が高まったことと思います。教室も3階に上がり、引き締まった表情で話を聞く姿が印象的でした。

一年生の教室では「学級活動」の意味を教えたり、かばん棚の整理の仕方を教えたり、体に合った机・椅子の選別であったり、学校生活を始めるにあたっての大事なことが一つずつ確認されていました。学校探検などを行いながら、少しずつ学校生活に慣れていくこととなります。

今年度も「宮川の風」でいろんな情報を発信していきます。ご感想などお待ちしております。よろしくお願いします。

(文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)